

Leading Edge Technology Showcase
For the artistic expressions of the future



第13回 文化庁メディア芸術祭協賛展

先端技術ショーケース'10

未来のアート表現のために

会場: 国立新美術館 企画展示室2E(文化庁メディア芸術祭会場内)

会期: 2010年2月3日(水)~2月14日(日)

10:00~18:00(入館は17:30まで)

※会期中の毎週金曜日は20:00まで(入館は19:30まで)

※2月9日(火)は休館

入場
無料

主催: 文部科学省/国立新美術館/独立行政法人科学技術振興機構

協力: 日本バーチャリアリティ学会 アート&エンタテインメント研究委員会

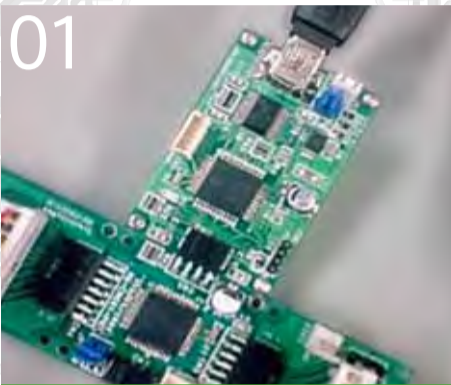
問合せ: 独立行政法人科学技術振興機構

「デジタルメディア作品の制作を支援する基盤技術」領域事務所

〒113-0033 東京都文京区本郷4-2-8 フローラビル6F

Tel 03-5805-1081 <http://www.media.jst.go.jp/>

デジタル技術がアートやエンタテインメントと結びつき、先端技術をもたらす表現の可能性はさらに高まっています。先端技術ショーケース'10では、科学と文化の融合を目指す研究者やアーティストの創造的な試みをご紹介します。



デバイスアート作品の制作を支援する技術 Device Art Toolkit

デバイスアートは、人と作品が相互作用する装置そのものが表現内容になります。デバイスアート・ツールキットは、このような作品の制作における試行錯誤をやりやすくするための道具です。

岩田洋夫 (筑波大学)
技術協力: 矢野博明・園崎祐貴 (筑波大学), 内海真 (アークデバイス)
<http://www.deviceart.org/>

スナップ写真から3D顔表情をインスタント生成する技術 Active Snapshot

1台のウェブカメラで撮影した正面のスナップ写真のみから顔の奥行きが推定され、本人そっくりの横顔をもつ3次元キャラクターモデルを瞬時に自動生成します。さらにこのキャラクターは、表情を変えたり、音楽に合わせて歌を唄います。

前島謙宣・久保尋之・森島繁生 (早稲田大学)
<http://www.mlab.phys.waseda.ac.jp/>

光で空間を拡張する技術 PVLCプロジェクト - Bloxels & SteganoScan Orbs -

プロジェクトで投影する映像に情報を埋め込み、空間を拡張できる技術です。積み上げたブロックや転がるボールがこの情報を読み取り、集団として一つの画像をなすように発光します。

岸邊・李鎮河 (東京大学), 算康明 (慶應義塾大学), 苗村健 (東京大学)
<http://www.nae-lab.org/>

空気の港 ～テクノロジー×空気で感じる新しい世界～

デジタルパブリックアートプロジェクトの成果を、本格的な公共空間である羽田空港にて約1ヶ月間「空気の港」展として開催しました。「空気」をテーマに、19作品を日本最大級の羽田空港のターミナルに展開し、多くの方に体験していただきました。

廣瀬通孝 (東京大学)
協力: 谷川智洋・西村邦裕・鈴木康広 (東京大学)
<http://www.digital-public-art.org/airharbor/airharbor.php>

ユビキタスコンテンツプラットフォーム xtel 生活に溶け込むコンテンツデザイン

日常生活に溶け込むユビキタスコンテンツを開発するための基盤技術として4つのツールから構成されるプラットフォームxtelを開発しています。xtelは小型基板“Moxa”、programming/runtime環境“Talktic”、P2Pライブラリ“Entity Collaborator”、ユーザ体験を蓄積するwebサービス“Life”で構成されます。

稲藤正彦・徳久悟 (慶應義塾大学)
<http://xtel.sfc.keio.ac.jp/jp/>

メディア芸術祭シンポジウム

「∞の可能性を未来に —メディアとアートと子どもたち—」

子どもたちには無限大の可能性があり、その可能性を育てることが未来につながります。一方で、メディア芸術は、日本人の優れた感性と高い技術力に支えられて、独自の発展を遂げてきました。そこでのアートとメディア技術の出会い、それぞれの分野において、新たな感動と独創を生みだしつつあります。これを、未来を担う子どもたちへどうつなげていけばよいのか。メディアの立場から、アートの立場から、そして子どもたちとつなぐ立場から、これからの姿を語り合います。

●日時: 2010年2月8日(月) 16:00~17:30

●会場: 国立新美術館 講堂

●司会: 原島 博
東京大学名誉教授、メディア技術

●出演: 岸 啓介
造形・CG作家、第3回メディア芸術祭大賞受賞

クワクポリョウタ
メディア・アーティスト、第7回メディア芸術祭大賞受賞

堤 康彦
NPO法人芸術家と子どもたち代表

作品紹介映像配信中

<http://www.youtube.com/user/sentangijutsu10>

